

デルフザイル市青少年訪問団受入事業

平成26年7月29日（火）から8月4日（月）にかけて、姉妹都市のデルフザイル市（オランダ）から青少年訪問団が周南市を訪問されました。一行はホームステイや日本文化体験、今回初めての試みである食文化交流会等を通して周南市の皆さんと交流され、友好関係を深められました。

7月29日（火）

デルフザイル市青少年訪問団の皆さんは無事に周南市に到着し、まず最初に新南陽高等学校を訪問されました。同年代の青少年との交流や、学校訪問で部活の様子を見学する等、楽しい時間を過ごされました。



新南陽高等学校の生徒と対面



歓迎の挨拶



部活見学（吹奏楽部）



部活見学（バレエ部）



お見送り

新南陽高校へ訪問された後は、歓迎会会場へ。ホストファミリーの皆さんと市内関係者でお出迎えしました。歓迎会では、両市長からの挨拶や、周南少年少女合唱団による歌が披露されました。歓迎会の後はいよいよホストファミリーとの対面です。名前を呼ばれるまでは緊張した様子だった青少年の皆さんも、ホストファミリーとの対面の際には自然と笑顔が見られました。



木村市長からの挨拶



エメ・フロート市長からの挨拶



記念品交換



記念撮影



ホストファミリーとの記念撮影

7月30日（水）

新南陽ふれあいセンターで日本文化体験が行われました。国際ソロプチミスト徳山、友愛会及び国際ソロプチミスト新南陽の皆さんにご協力をいただき、青少年の皆さんが着物の着付け、茶道、書道、押し花や折り紙等の日本の遊びを体験されました。



書道体験



茶道体験



着物の着付け体験

7月31日（木）

デルフザイル市長と同行者の皆さんは、デルフザイル市に関連会社のある東ソー株式会社と帝人株式会社を訪問され、熱心に説明を聞かれていました。



徳山保健センターでは、今回初めての試みである食文化交流会が開催されました。デルフザイル市のシェフをお招きし、周南市の料理人の皆さんにオランダ料理をご紹介いただきました。完成後は、関係者をお招きし、試食会を行いました。姉妹都市に対する理解を深める良い機会になったのではないのでしょうか。



調理と交流



調理と交流



マスタードスープを試食中



～食文化交流会メニュー～

マグロのセビーチェ、玉葱とトマトのハンバーガー、
マスタードスープ、タラとマッシュポテト、
サラダ



ご参加いただいた周南市の料理人の皆さん

活魚&新洋食工房 ALBERO 井川大聖さん(セカンドシェフ)
ホテルサンルート徳山 大城戸俊成さん
金龍 金岡将徳さん
イタリア食堂Bamboo 竹重嘉亮さん
津々浦々 三浦晃義さん
FOOD BAR HANDs 山下章広さん
夢酒酒楽 山本勇さん

食文化交流会終了後、同会場でデルフザイル市長によるプレゼンテーションが行われました。内容は、デルフザイル市についての紹介で、来場者の皆さんは興味深い様子で説明を聞いていらっしゃいました。



デルフザイル市長によるプレゼンテーション

8月1日（金）

一行は広島視察を行い、原爆ドームや広島平和記念資料館等を見学されました。資料館の展示等を真剣に見入る姿が印象的でした。



原爆ドームの前で記念写真

8月2日（土）

デルフザイル市長と同行者の皆さんは、萩市を訪問され、ガラス工芸を体験したり、神社を訪問されました。



ガラス工芸体験



完成したガラスの小物

雨のため、サンフェスタしんなんようのパレードは中止となりましたが、福川小学校マーチングバンドの皆さんからのお招きを受け、オランダ国歌とフローニンゲン州歌の演奏を披露していただきました。



ブラスバンド演奏の披露



記念撮影

サンフェスタしんなんようではステージや餅まき等の行事に参加し、市民の皆さんからの歓迎を受けました。



ステージインタビュー



鏡割り



8月3日（日）

デルフザイル市長と同行者の皆さんは岩国市を訪問されました。



錦帯橋の前で



山の上からの景色

夕方からはお別れ会が開催され、一行はホストファミリーや関係者の皆さんとの楽しい時間を過ごされました。日本舞踊や周南少年少女合唱団及び新南陽高等学校吹奏楽部による演奏が行われたほか、デルフザイル市の皆さんからもオレンジ色の洋服に身を包んでの歌の出し物があり、会場が大変盛り上がりしました。最後はデルフザイル市の青少年からお礼のご挨拶をいただきました。



エメ・フロート市長から木村市長へ記念品贈呈



歓談中



日本舞踊の披露



デルフザイル市の皆さんの出し物



お礼の挨拶



お別れ会の最後に、皆さんで乾杯！

8月4日（月）

いよいよ周南市を離れる日。青少年の皆さんはホストファミリーの皆さんと最後のお別れをされました。バスが出発した後も、見えなくなるまでお互い手を振りあって別れを惜しんでいらっしゃいました。

今回の事業で出来た両市の新しい絆が末永く続くことを願っております。デルフザイル市の皆さん、またお会いしましょう！



ホストファミリーの皆さんとのお別れ



お見送り



またお会いしましょう！！！！